

# 2023年12月期 第2四半期決算短信 [IFRS] (連結)

2023年8月14日

東

上場会社名 Appier Group株式会社 上場取引所 URL https://www.appier.com/

代 表 者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)游 直翰

問合せ先責任者 (役職名)Senior Vice President of Finance (氏名)橘 浩二 (TEL) 03(6435)6617

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト 向け)

(百万円未満四捨五入)

#### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

## (1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	- 売上収	<b>又益</b>	EBITD	A:×	営業利	益	税引前	利益	四半期		親会社の所 に帰属する 期利益	5四半	四半期包	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期 第2四半期	11, 722	37. 0	936	97. 1	48	_	110	_	82	_	82	_	2, 541	△33. 9
2022年12月期 第2四半期	8, 557	54. 2	475	_	△92	_	△195	_	△233	_	△233	_	3, 846	

※EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用

	基本的 1 株当たり 四半期利益	希薄化後 1 株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	0.80	0. 79
2022年12月期第2四半期	△2. 30	△2. 30

(注) 1. 前第2四半期連結会計期間末に存在する普通株式1,496,163株相当のストック・オプションは、1株当たり四半期損失に対して逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期損失の算定に含まれておりません。当該ストック・オプションは、将来において基本的1株当たり利益を潜在的に希薄化させる可能性があります。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	38, 823	28, 796	28, 796	74. 2
2022年12月期	35, 939	26, 201	26, 201	72. 9

### 2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭			
2022年12月期	_	0.00	_	0. 00	0. 00			
2023年12月期	_	0.00						
2023年12月期(予想)			_	0. 00	0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

# 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

						02X 11 10 X X 1 11 17	A1-D 4/20 /
	売上収益	EBITDA*	営業利益	税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	当 <i>t</i> - 11 当期
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円銭
通期	25, 454   31. 0	2, 342 71. 9	535 964. 3	815   634. 6	718 —	718 —	7. 07

※EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更
 ① ①以外の会計方針の変更
 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更
 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期 2 Q	101, 691, 383株	2022年12月期	101, 511, 035株
2023年12月期 2 Q	237株	2022年12月期	195株
2023年12月期 2 Q	101, 581, 604株	2022年12月期 2 Q	101, 216, 835株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると 判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の 前提になる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する 定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	13

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)経営成績に関する説明

「ソフトウェアをよりスマートに、AIでROIを向上させる」が当社グループのミッションです。

当第2四半期連結累計期間の売上収益は11,722百万円(前年同期比37.0%増)となりました。これは、アップセル・クロスセルによる既存顧客からの売上収益の拡大、地域及び顧客業種の拡大による新規顧客からの売上収益の拡大によるものであります。また、2023年6月におけるARR(注1)は22,465百万円となり、2022年6月の16,585百万円からの成長率は35.5%となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上総利益は5,948百万円(前年同期比38.6%増)となり、売上総利益率は50.7%(前年同期は50.1%)となりました。

事業規模の拡大及び為替影響により、営業費用(販売及びマーケティング費用、研究開発費、一般管理費)の金額は増加していますが、売上収益に対する比率は低下しました。その結果、EBITDA(注3)は936百万円(前年同期は475百万円)、営業利益は48百万円(前年同期は91百万円の損失)となりました。また、税引前四半期利益は110百万円(前年同期は195百万円の損失)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は82百万円(前年同期前は233百万円の損失)となりました。

- (注) 1. Annual Recurring Revenueの略。年間経常収益。利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、関連する期間における1か月平均のリカーリング売上収益(注2)を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、関連する期間の最終月のリカーリング売上収益を12倍することで年換算して得られた金額です。2023年6月のARRは、利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては2023年1月から2023年6月のリカーリング売上収益の1か月平均を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては2023年6月のリカーリング売上収益を12倍して算出しております。
  - 2. リカーリング顧客(利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、①当社グループのソリューションを4四半期以上連続で使用している顧客企業及び②直近1年以内の新規顧客企業で当社グループのソリューションを3カ月以上連続で使用している顧客企業を、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、当社グループと1年以上の契約を締結している顧客企業をいいます。)からの売上収益
  - 3. EBITDA=営業利益+減価償却費及び無形資産償却費+営業費用に含まれる税金費用

#### (2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は38,823百万円であり、前連結会計年度末に比べて2,885百万円増加しております。流動資産は前連結会計年度末に比べて1,266百万円増加しており、主な増加要因は定期預金の払戻等による現金及び現金同等物の増加(前連結会計年度末比1,346百万円増)、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の取得によるその他の金融資産の増加(同1,342百万円増)、売上収益の増加による営業債権及び契約資産の増加(同625百万円増)であり、主な減少要因は定期預金の払戻による減少(同2,140百万円減)であります。非流動資産は前連結会計年度末に比べて1,619百万円増加しており、主な増加要因は資産化の要件を満たす開発費用の資産計上によるのれん及び無形資産の増加(同1,621百万円増)であり、主な減少要因は使用権資産の償却による減少(同189百万円減)であります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は10,027百万円であり、前連結会計年度末に比べて290百万円増加しております。流動負債は前連結会計年度末に比べて503百万円増加しており、主な増加要因は売上原価の増加による営業債務の増加(前連結会計年度末比333百万円増)であります。非流動負債は前連結会計年度末に比べて212百万円減少しており、主な減少要因はリース負債の返済による減少(同216百万円減)であります。

#### (資本)

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は28,796百万円であり、前連結会計年度末に比べて2,595百万円増加しております。主な増加要因は為替変動によるその他の資本の構成要素の増加(前連結会計年度末比2,459百万円増)であります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、5,150百万円(前連結会計年度末比1,346百万円増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は555百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べ352百万円収入が増加しました。主な収入の増加要因は、非資金損益調整後の税引前利益の増加(前年同期比417百万円増)、利息の受取額の増加(同259百万円増)であり、主な減少要因は運転資本の増加(同287百万円増)であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は552百万円となり、前第2四半期連結累計期間の支出1,999百万円と比べ、2,550百万円収入が増加しました。主な収入の増加要因は純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の取得による支出の減少(前年同期比1,602百万円減)、定期預金の純減による収入の増加(同1,388百万円増)であり、主な減少要因は無形資産の取得による支出の増加(同425百万円増)であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は286百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べ34百万円支出が増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回公表した内容から変更はありません。

# 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

# (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3, 803, 630	5, 149, 630
定期預金	13, 932, 568	11, 792, 208
営業債権	2, 843, 653	3, 123, 988
契約資産	920, 117	1, 264, 760
その他の債権	164, 292	118, 393
その他の流動資産	121, 969	261, 105
その他の金融資産	3, 576, 577	4, 918, 656
流動資産合計	25, 362, 806	26, 628, 740
非流動資産		
有形固定資産	192, 491	267, 214
使用権資産	2, 881, 598	2, 692, 230
のれん及び無形資産	6, 937, 098	8, 557, 847
繰延税金資産	174, 669	179, 222
その他の金融資産	389, 959	498, 114
非流動資産合計	10, 575, 815	12, 194, 627
資産合計	35, 938, 621	38, 823, 367
負債及び資本 負債		
流動負債	0.140.050	0.050.540
借入金	2, 149, 053	2, 270, 749
契約負債	158, 189	135, 691
営業債務	1, 833, 823	2, 166, 397
その他の債務	2, 413, 623	2, 412, 328
未払法人所得税	51, 367	49, 913
リース負債	582, 535	638, 529
その他の流動負債	98, 293	115, 892
流動負債合計	7, 286, 883	7, 789, 499
非流動負債		
引当金	62, 387	66, 829
繰延税金負債	58, 989	58, 432
リース負債	2, 329, 027	2, 112, 681
非流動負債合計	2, 450, 403	2, 237, 942
負債合計	9, 737, 286	10, 027, 441
資本		
資本金	7, 535, 199	7, 542, 568
資本剰余金	23, 712, 343	23, 759, 090
自己株式	△246	△322
利益剰余金	$\triangle 9, 472, 977$	△9, 391, 310
その他の資本の構成要素	4, 427, 016	6, 885, 900
親会社の所有者に帰属する持分	26, 201, 335	28, 795, 926
資本合計	26, 201, 335	28, 795, 926
負債及び資本合計	35, 938, 621	38, 823, 367

# (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

		(— <u> </u> — <u> </u> · 1   1 )
	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	8, 557, 210	11, 722, 215
売上原価	△4, 265, 912	△5, 774, 426
売上総利益	4, 291, 298	5, 947, 789
販売及びマーケティング費用	$\triangle 2, 837, 545$	△3, 731, 002
研究開発費	△1, 043, 085	$\triangle 1, 397, 591$
一般管理費	△727, 898	△880, 260
その他の収益	227, 163	110, 313
その他の費用	△1,909	△1, 211
営業利益(△損失)	△91, 976	48, 038
金融収益	41, 151	256, 984
金融費用	△144, 555	△194, 669
税引前四半期利益(△損失)	△195, 380	110, 353
法人所得税費用	△37, 815	△28, 686
四半期利益(△損失)	△233, 195	81, 667
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	△233, 195	81, 667
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	△2.30	0.80
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	△2. 30	0.79

第2四半期連結会計期間

		(中位・111)
	前第2四半期連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	4, 359, 750	6, 170, 292
売上原価	$\triangle 2, 169, 286$	$\triangle 3,003,771$
売上総利益	2, 190, 464	3, 166, 521
販売及びマーケティング費用	△1, 491, 381	△1, 953, 771
研究開発費	△582, 298	△746, 902
一般管理費	△379, 159	△446, 700
その他の収益	167, 828	60, 832
その他の費用	△615	△608
営業利益(△損失)		79, 372
金融収益	24, 955	134, 919
金融費用	△97, 878	△92, 242
税引前四半期利益(△損失)	△168, 084	122, 049
法人所得税費用	<u>△</u> 18, 667	△6, 764
四半期利益(△損失)	△186, 751	115, 285
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	△186, 751	115, 285
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△1.84	1.13
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△1.84	1. 12

# 要約四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益(△損失)	△233 <b>,</b> 195	81, 667
その他の包括利益 純損益に振り替えられることのない項 目		
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定するものとして指定した資本 性金融商品の公正価値の純変動額	31, 916	76, 992
純損益に振り替えられることのない項 目合計 純損益に振り替えられる可能性のある 項目	31, 916	76, 992
在外営業活動体の外貨換算差額	4, 047, 605	2, 381, 892
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	4, 047, 605	2, 381, 892
その他の包括利益合計	4, 079, 521	2, 458, 884
四半期包括利益	3, 846, 326	2, 540, 551
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3, 846, 326	2, 540, 551

# 第2四半期連結会計期間

		(十一元:111)
	前第2四半期連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益 (△損失)	△186, 751	115, 285
その他の包括利益 純損益に振り替えられることのない項 目		
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定するものとして指定した資本 性金融商品の公正価値の純変動額	△9, 310	54, 214
純損益に振り替えられることのない項 目合計 純損益に振り替えられる可能性のある 項目	△9, 310	54, 214
在外営業活動体の外貨換算差額	2, 776, 265	2, 228, 791
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	2, 776, 265	2, 228, 791
その他の包括利益合計	2, 766, 955	2, 283, 005
四半期包括利益	2, 580, 204	2, 398, 290
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2, 580, 204	2, 398, 290

# (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

#### 親会社の所有者に帰属する持分

	W サ							
				その				
_	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	슴計	資本合計
2022年1月1日残高	7, 526, 244	23, 644, 664	_	△9, 494, 299	1, 134, 939	24, 140	1, 159, 079	22, 835, 688
四半期利益 (△損失)	_	_	_	△233, 195	_	_	_	△233, 195
その他の包括利益	_	_	_	_	4, 047, 605	31, 916	4, 079, 521	4, 079, 521
四半期包括利益	_	_	_	△233, 195	4, 047, 605	31, 916	4, 079, 521	3, 846, 326
株式報酬取引	_	23, 138	_	_	_	_	_	23, 138
新株予約権の行使	3, 682	3, 682	_	_	_	_	_	7, 364
自己株式の取得	_	_	△58	_	_	_	_	△58
所有者との取引額等合計	3, 682	26, 820	△58	_	_	_	_	30, 444
2022年6月30日残高	7, 529, 926	23, 671, 484	△58	△9, 727, 494	5, 182, 544	56, 056	5, 238, 600	26, 712, 458

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

親会社	一の所	r右者	に帰.	属っ	トろ	持分

_	税云社の別有有に帰属する特別							
					その他の資本の構成要素			
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	在外営業活動 体の換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	승카	資本合計
2023年1月1日残高	7, 535, 199	23, 712, 343	△246	$\triangle 9$ , 472, 977	4, 442, 874	$\triangle 15,858$	4, 427, 016	26, 201, 335
四半期利益 (△損失)	_	_	_	81, 667	_	_	_	81,667
その他の包括利益	_	_	_	_	2, 381, 892	76, 992	2, 458, 884	2, 458, 884
四半期包括利益	_	_	_	81, 667	2, 381, 892	76, 992	2, 458, 884	2, 540, 551
株式報酬取引	_	39, 378	_	_	_	_	_	39, 378
新株予約権の行使	7, 369	7, 369	_	_	_	_	_	14, 738
自己株式の取得	_	_	△76	_	_	_	_	△76
所有者との取引額等合計	7, 369	46, 747	△76	_	_	_	_	54, 040
2023年6月30日残高	7, 542, 568	23, 759, 090	△322	△9, 391, 310	6, 824, 766	61, 134	6, 885, 900	28, 795, 926

# (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:十円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	△195, 380	110, 353
減価償却費及び無形資産償却費	563, 831	884, 996
受取利息	$\triangle 41, 151$	△256, 984
支払利息	30, 195	53, 141
予想信用損失(△は戻入)	43, 726	42, 009
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 評価損益 (△は益)	△9, 431	△106, 083
条件付対価取崩益	△57, 178	_
株式報酬費用	30, 332	53, 936
その他	△108	58
運転資本の増減		
営業債権	108, 064	△91, 303
契約資産	72, 197	△248, 800
その他の債権	55, 081	30, 847
その他の流動資産	△53, 895	$\triangle$ 128, 515
契約負債	4, 374	△33, 648
営業債務	△134, 414	160, 330
その他の債務	△160, 608	△119, 392
その他の流動負債	$\triangle 23,459$	11, 140
小計	232, 176	362, 085
利息の受取額	23, 127	281, 908
利息の支払額	△30, 085	△52, 973
法人所得税の支払額	△22, 280	△36, 493
営業活動によるキャッシュ・フロー	202, 938	554, 527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29, 193	△103, 698
無形資産の取得による支出	$\triangle 1,013,751$	$\triangle 1, 438, 647$
子会社の取得による支出	△35, 298	$\triangle 41,569$
定期預金の払戻による収入	9, 838, 452	21, 432, 589
定期預金の預入による支出	$\triangle 8, 270, 186$	$\triangle$ 18, 476, 619
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 取得による支出	△2, 491, 005	△888, 627
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 売却による収入	_	71, 977
その他	2, 436	△3,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	$\triangle 1,998,545$	551, 669
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	$\triangle 251,440$	$\triangle 285,842$
株式の発行による収入	170	180
自己株式の取得による支出	△58	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△251, 328	△285, 738
現金及び現金同等物の為替変動による影響	474, 364	525, 542
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	$\triangle 1, 572, 571$	1, 346, 000
現金及び現金同等物の期首残高	6, 560, 906	3, 803, 630
現金及び現金同等物の四半期末残高	4, 988, 335	5, 149, 630

# (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

当社グループは、AISaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

# (重要な後発事象)

該当事項はありません。